



重陽を 春花園の宵

2025年10月11日(土)

薪能

日本酒

薪能、盆栽景道飾り、武道、日本酒が
春花園BONSAI美術館に集う秋祭り

参加費 15.000円(会食費用込み・税込)

重陽を寿ぐ、春花園の宵

2025年10月11日(土) 16:00～

太陽、月、海、山…自然と命の物語は、世界中に語り継がれてきました。古代中国で始まった「重陽の節句(菊の節句)」は、日本でも長寿と豊穡を願う祝いとして受け継がれています。平安貴族に伝わった「菊水伝説」や、不老長寿への祈りとともに、菊は今も生命力と美の象徴です。日本人は、自然をただ観賞するだけでなく、その神秘を芸術や精神文化に映し込み、盆栽や能といった形で独自の美と象徴性を生み出してきました。

今回、春花園 BONSAI 美術館では、中秋の名月を祝って、盆栽に囲まれた特別舞台で薪能を中心に多彩な日本文化を披露します。

五穀豊穡への感謝と不老長寿の願いを込め、秋の一日を心ゆくまでお楽しみください。

皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

小林國雄

盆栽 秋の移ろいを彩る「春花園」の盆栽

800年以上の日本伝統文化である BONSAI は、いまや世界と日本を繋ぐ究極の自然芸術です。

樹齢1200年の盆栽からどのような物語を感じるでしょうか。名人 小林國雄が語ります。

景道 家元 小林一風師が表現する床の間に広がる大自然のしづらえ

海外の名士も驚嘆した日本の各家にある美術館「床の間」を現代生活にどのように活かすのか。

節句会の花となる日本三大美石「菊花石」を主に添えて、その物語を家元の解説で学びます。

薪能 観世流 佐久間二郎師より「菊慈童」、薪の薫りと火の音を背に

能には様々な草花を題材とした演目がありますが、特にこの能は菊花の美しさに長寿の喜びを重ね合わせた祝言曲で、舞の囃子(音楽)も中国らしい旋律を主としたリズムカルな音曲となっています。

日本酒 銘酒を菊と共に、月、虫の音色、自然体との一体感を

新潟新発田市、越後杜氏の技術から生まれる清酒、200年にわたり伝統と革新に磨きをかけ続けています。

長寿への願いを込めて古来から受け継がれる酒を菊とともに味わいましょう。

●10月11日(土) 開催内容(16:00～受付)

16:30～ 景道解説(菊の節句設定)

17:00～ 空手演舞+春花園と菊の節句について

17:30～ 能の解説+薪能「菊慈童」

18:30～ 菊の節句と日本酒の話

18:45～20:30 乾杯～先生方との会食

※ 天気等により予定が変更することがあります。あらかじめご了承ください。

●参加費 15,000円(会食費用込み・税込)

※ 席は自由席となります。定員になり次第、受付を終了いたします。

※ 10月1日以降のキャンセルにつきましては、参加費の全額を申し受けます。

参加申し込み必須

申し込み担当：神 Jin

ショートメッセージ受付

080-3025-4124

jyf33i66@gmail.com

e-mail



●場所: 春花園 BONSAI 美術館

東京都江戸川区新堀 1-29-16 <https://kunio-kobayashi.com/>

※ 駐車場のご用意はありません。公共交通機関をご利用ください。

※ Google Map で「春花園 BONSAI 美術館」と検索いただけます。



春花園動画

●空手/茶会 料金別途制 詳細は各申し込み担当者まで

10:00～12:30 国際松濤館空手道連盟の金澤日和先生を筆頭とした演舞+トーク

空手道は体の各部位を組織的にきたえる、老若男女を問わない理想的な心身体育です。

正しい呼吸を身につけ、精神を統一し、体力、気力を養います。その力強さと美を共有します。

空手申込担当：金澤 090-6652-2138

14:00～16:00 遠州茶道宗家 13 世宗家直門の久保田先生より「琥珀焼き茶会」+講和

聖徳太子の志を現代に復刻する青木 良太作の琥珀焼きと茶道を融合させた茶会です。

三重県津市曹洞宗 塔世山四天王寺第 54 世倉島住職によるご講和や琥珀焼きの展示も併せてお楽しみください。

茶会申込担当：鈴木 080-6748-8815

